

季節感と日本らしさを感じて

くにみもたん広場でおひなさま飾り

くにみもたん広場では、桃の節句に合わせて布地で製作したおひなさま飾りを展示しました。親子で遊びに来た方やくにみ幼稚園の園児たちが、ひな飾りに仮装し、写真撮影するなどして楽しんでいました。

くにみもたん広場では、小学生までの子ども向けの遊具のほか、四季折々のイベントや展示を行っています。皆さんのご来場をお待ちしています。



お内裏様とお雛様になってハイポーズ！



木工技術を学びながら制作中

ベンチ作りに挑戦

木育DIY教室

福島県産材を使って木工技術を体験してもらう木育DIY教室が1月31日に小坂農村管理センターで行われ、午前と午後で計20名が参加しました。

教室では、ディ・シー・ツー有限責任事業組合（伊達市）の木工職人の皆さんを講師に迎え、3人掛けベンチの制作に挑戦。参加者は、かんやインパクトドライバーを使いながら、ものづくりの楽しさを体感しました。

地域農業の取り組みが高く評価

農事組合法人コネクトファーム貝田が受賞

農事組合法人コネクトファーム貝田が、福島民友新聞社主催の「豊かなむらづくり顕彰事業」の農業生産部門で表彰されました。受賞を受け、3月10日に高橋一吉代表理事らが村上利通町長を訪れ、受賞の喜びを報告しました。この顕彰は、地域農業の発展と地域の活性化に取り組む団体を表彰するものです。訪れた高橋代表理事は「後継者不足が大きな課題。次の世代につなげていきたい」と話しました。



受賞報告に訪れた高橋代表理事と大沼理事



DXの理解を深める国見町職員

住民サービスの向上を目指して

国見町DX推進基本方針 職員向け説明会

国見町DX推進基本方針の職員向け説明会が2月18日に行われました。DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、デジタル技術を活用し、業務や行政サービスの仕組みを見直し、より便利で質の高いサービスへと変革する取り組みです。本町では、今年度から本格的にDXを推進し、全庁一丸となって住民サービスの向上と業務の効率化に取り組んでいきます。

国見小学校5年生が国見町をPR！

PR動画制作とカレーを考案 テレビで紹介

国見小学校5年生が総合学習で「国見町をPRしよう」をテーマに、国見町の魅力を発信する動画制作とオリジナルカレーを考案しました。道の駅国見あつかしの郷の協力のもと、町の食材を生かしたカレーを考案。児童たちが地域の魅力を学びながらPRする様子が、3月18日にKFB福島放送の情報番組「シェア！」で紹介されました。紹介の様子は、番組公式ホームページから視聴できます。



テレビ中継で元気いっぱい国見町をPRする児童たち



奨励金を受け取った皆さん

がんばる子どもたちを応援

国見町青少年育成町民会議奨励金交付

全 国大会等に出場する生徒に奨励金を交付しました。
【全国大会】ソフトテニス競技／齋藤叶芽（小6）、四家侑芽（小4）
【東北大会】フェンシング競技／津田義仁（高1）
【県大会】バレーボール競技／内村樹琉（高2）、菊地悠翔（高2）ソフトテニス競技／浅野礼音（高1）、四家侑磨（高1）、後藤翔音（高1）

新規就農に向けた第一歩

くにみ農業ビジネス訓練所長期研修修了証書授与式

くにみ農業ビジネス訓練所長期研修修了証書授与式が3月25日、くにみ農業ビジネス訓練所で行われました。1年間の農業研修を終えた長期研修生4名が、佐藤博志訓練所所長から修了証書を受け取りました。佐藤所長は、「皆さんにはたくさんの方が注目しています。これから人の輪を広げ、健康に十分注意して農業に励んでください」とお祝いの言葉を修了生に送りました。



1年間の長期研修を修了した研修生と関係者の皆さん



ひなこけしを絵付けする参加者

ひなこけし絵付け体験を満喫

クラフト体験ツアー

国見町を巡る「春を迎えるクラフト体験ツアー」が2月21日に行われ、宮城県や福島県内から7名が参加しました。ツアーでは、弥次郎系伝統こけし工人の上田康友さんを講師に迎え、絵の具でひなこけしの顔や着物の模様を絵付けしました。その他、3Dプリンターを使った花のブローチ作り体験やあつかし歴史館、東北道国見サービスエリアを巡り、国見の歴史やグルメを堪能していました。